

を排除するため「観光は電車で」を提倡し、その為新たに駐車場は作らないようにしているとか、外からの車乗入れ制限もやむを得ないのである。お蔭で次の立寄り拝観予定であつた長谷の大仏（淨土宗高徳院の本尊、阿弥陀如来坐像）もバスを駐める場所がなく、やむなく脇を素通り、葉桜の並木が続く坂道を暫く上ると左側に一きわ目立つ見るからに歴史を感じさせる古い山門、これが権亭の入口である。この山門は頼朝が創建し、大正十二年に廃寺となつた高松寺のものの由、長谷の大仏を素通りしたせいで予定時刻より30分前の正午頃到着、山門を入った直ぐの本館前で先ず全員揃つて記念撮影、一時の会食予約時刻までの約一時間を山の中腹斜面の三万坪廻遊式純日本庭園を散歩したり、すぐ近くの棟方志功版画美術館見学に足を向けたりしてすごす。午後一時より横浜の豪農旧家を移築した本館の座敷広間に集まり、大久保さん发声の乾杯で始まりゆつくり会席料理を堪能、和やかな歓談のうちに約一時間半が経つ。



午後二時四十分権亭山門前発、途中若干の断続的渋滞があつたが概ね順調に午後五時、朝の集合地に全員無事帰着、車中では西村さんの挨拶があつた。
天気にも恵まれ、一同満足してお土産を手に帰宅の途についた。
以上

父頼吉が亡くなりこの九月で早いもので満十年になります。小生も父の真似事で恐縮ですが拝啓を別紙のように同封致しましたので紙幅に若し余佑があれば宜敷くお願い申上げます。
末筆ながら辰巳会の益々のご発展をお祈り申上げます。
敬具

辰巳会名簿

今村 三郎

拝啓

貴会益々ご清栄の段心よりお喜び申上げます。「たつみ」第五十号拝受、特に四国支部親睦会だよりの中で南前さんが高知の浦戸海軍航空隊……の記事を拝見、小生も昭和二十年三月焼野ヶ原の神戸を後に宇野高松、土讃線にてB29・グラマンの空襲下高知に参り浦戸海軍航空隊にて予科練の第二次試験を受験した経験があり、なつかしかつたです。一度機会があれば南前さんとゆっくり昔話を致し度いものです。

父頼吉が亡くなりこの九月で早いもので満十年になります。小生も父の真似事で恐縮ですが拝啓を別紙のように同封致しましたので紙幅に若し余佑があれば宜敷くお願い申上げます。

敬具

亡夫 小松 彰男
内 小松 彰笑

御家族皆様の御健勝をお祈ります。
致しまして御礼のご挨拶申し上げます。

六月二十一日

かしこ

皆様には益々ご清栄のことと御喜び申し上げます。
謹啓

岡本 賢治

皆様には益々ご清栄のことと御喜び申し上げます。

謹啓

亡父岡本志良の葬儀に際し皆様から賜りました御厚情に心より厚く御礼申し上げます。又生前の父に頂きました御引立、御寛容そして御鞭撻に深く感謝の意を表します。

敬白

平成元年六月二十日

この度四十九日法要をとり行い

まして忌明致しました。父の遺志
でもありますので御世話になりま
した皆々様への香典返しを、恥し
い位の少額ではありますが、会の
運営に御役に立てて頂ければと、
寄付させて頂くことで変えさせて
いただきました。拝眉

の上、色々な非礼のおわび、御説
明をいたすべきではございますが、
書状にて御許し下さい。

皆様の御繁栄と御健祥を心より
御祈り申し上げます。
草々

平成元年六月

松村 勲

拝啓 時下新緑の候、益々御清
栄の候、お慶び申し上げます。

去る五月十一日の辰巳会全国大
会が須磨寺書院並びに寿楼で行わ
れました節参加させて頂き、いろ
々お世話様になりました。厚く
お礼申し上げます。

生憎当日は降雨がありました
が、須磨寺老師の源平戦の話は仲々興
味あるものでした。更に由緒ある
一絃琴の演奏を聞くことが出来、
榮の候、お慶び申し上げます。

去る五月十一日の辰巳会全国大
会が須磨寺書院並びに寿楼で行わ
れました節参加させて頂き、いろ
々お世話様になりました。厚く
お礼申し上げます。

帝人勤務)の長女です。永年お送
りいただき何かと御厚誼をいただ
きましたことに厚く御礼申し上げ
ます。皆様によろしくお伝え下さ
い。

越智 栄

年も改まりましたが、お変りな
く御機嫌およろしくいらっしゃ
います事と存上げます。過日は「た
つみ」第五十号をお贈り頂きまし
て有難うございました。本年も何
卒よろしくお願ひ申上げます。
御皆様何卒ますく御健健で樂
しい日々を過されますよう祈上
げます。

おくねながら御礼のみ申上げま
す。
二月八日
かしこ

村田 美都里

暖かい冬が続いて、ホットさせ
られる毎日でございます。辰巳会
の皆々様には、お変りもなくお過
しでござります事と存じ上げます。
過日、村田寿満宛にたつみ五十

昔を偲ぶよすがとなりました。

桜の名所ときいておりましたが、
それを思われる葉桜の風情も雨に
しつとり濡れて捨て難いものがあ
りました。

会食の方は天候のせいか少し少
いようでしたが、皆様と歓談のう
ちに一刻を過すことが出来、まこ
とに楽しむ御座いました。御礼申
し上げます。

あのあと紀南の那智、勝浦、灘
峡などを回り、去る十六日帰宅致
しました。

先は右御札まで申し上げます。
五月二十一日 敬具

木下清三郎

拝啓 時下新緑の候、益々御清
栄の候、お慶び申し上げます。

本日の第三十回全国大会に出席
致し大変楽しく過ぎさせて頂きま
した。会長さま始め幹事各位の御配
慮の程有難く厚く御礼申し上げま
す。

東京の植田様の須磨寺の県下中
等学校相撲大会の応援団の御話し、
小生も大正十年より経験しなつか
しく拝聴いたしました。小池管長
生憎当日は降雨がありました
が、須磨寺老師の源平戦の話は仲々興
味あるものでした。更に由緒ある
一絃琴の演奏を聞くことが出来、
榮の候、お慶び申し上げます。

去る五月十一日の辰巳会全国大
会が須磨寺書院並びに寿楼で行わ
れました節参加させて頂き、いろ
々お世話様になりました。厚く
お礼申し上げます。

生憎当日は降雨がありました
が、須磨寺老師の源平戦の話は仲々興
味あるものでした。更に由緒ある
一絃琴の演奏を聞くことが出来、
榮の候、お慶び申し上げます。

号お送りを戴きありがとうございました。
ました。実は母寿満、昨年十二月
の二十四日に他界致しました。最
後は肺ガンでございましたが、あ
まり苦しみも無く安らかに旅立ち
ました。

生前の皆々様との御交誼を何時
も楽しみにして居りましたので、
たつみ五十号を靈前に供えて報告
しました。

本当に長い間お世話になりました
て、大変嬉しくここに厚く御礼申
上げます。皆々様の末長き御健康
心よりお祈り致します。かしこ
り寒さは厳しゅうござります。

皆々様にはお変りもなくお過の
事と拝察申し上げます。

前略御免下さいませ。
平成元年もまたたく間に過ぎて
しまいました。暖冬とは申せやは
ました。

渡辺のぶ江

号お送りを戴きありがとうございました。
ました。実は母寿満、昨年十二月
の二十四日に他界致しました。最
後は肺ガンでございましたが、あ
まり苦しみも無く安らかに旅立ち
ました。

号お送りを戴きありがとうございました。
ました。実は母寿満、昨年十二月
の二十四日に他界致しました。最
後は肺ガンでございましたが、あ
まり苦しみも無く安らかに旅立ち
ました。

号お送りを戴きありがとうございました。
ました。実は母寿満、昨年十二月
の二十四日に他界致しました。最
後は肺ガンでございましたが、あ
まり苦しみも無く安らかに旅立ち
ました。

武内 雪恵

春とは申せまだお寒う御座いま
す。いつも御無沙汰のみでお恥し
い限りであります。逆縁でめぐし
い毎日で御座います。またわざ
く辰巳の雑誌お送り頂きどうも
有難う存じます。お礼がおそらく
りましてごめん下さいませ。お寒
さ続きますのでどうかお身体お大
切になさって下さいませ。どうも
有難う存じました。

越智 栄

年も改まりましたが、お変りな
く御機嫌およろしくいらっしゃ
います事と存上げます。過日は「た
つみ」第五十号をお贈り頂きまし
て有難うございました。本年も何
卒よろしくお願ひ申上げます。

御皆様何卒ますく御健健で樂
しい日々を過されますよう祈上
げます。

おくねながら御礼のみ申上げま
す。

二月八日
かしこ

藤澤 義夫

拝啓 今日は私の米寿の祝いとして銀
盆御送頂き誠に有難く厚く御礼
申し上げます。

この上は一層健康の留意して白
寿に向い精進致すつもりで御座い
ます。

先は不敢取御札までー。

平成元年四月

窪田 音吉

陽春の候、日増しに野山のみど
りがさわやかに感じられるこの頃
でござります。平素は何かとお世
話になりましたがどうござい
ます。

又この度は米寿のお祝いに記念
品をいただきましてありがとうございます。
平成元年もまたたく間に過ぎて
しまいました。暖冬とは申せやは
ました。

前略御免下さいませ。

陽春の候、日増しに野山のみど
りがさわやかに感じられるこの頃
でござります。平素は何かとお世
話になりましたがどうござい
ます。

又この度は米寿のお祝いに記念
品をいただきましてありがとうございます。
平成元年もまたたく間に過ぎて
しまいました。暖冬とは申せやは
ました。

前略御免下さいませ。

陽春の候、日増しに野山のみど
りがさわやかに感じられるこの頃
でござります。平素は何かとお世
話になりましたがどうござい
ます。

又この度は米寿のお祝いに記念
品をいただきましてありがとうございます。
平成元年もまたたく間に過ぎて
しまいました。暖冬とは申せやは
ました。

前略御免下さいませ。

陽春の候、日増しに野山のみど
りがさわやかに感じられるこの頃
でござります。平素は何かとお世
話になりましたがどうござい
ます。

又この度は米寿のお祝いに記念
品をいただきましてありがとうございます。
平成元年もまたたく間に過ぎて
しまいました。暖冬とは申せやは
ました。

前略御免下さいませ。

陽春の候、日増しに野山のみど
りがさわやかに感じられるこの頃
でござります。平素は何かとお世
話になりましたがどうござい
ます。

又この度は米寿のお祝いに記念
品をいただきましてありがとうございます。
平成元年もまたたく間に過ぎて
しまいました。暖冬とは申せやは
ました。

前略御免下さいませ。

陽春の候、日増しに野山のみど
りがさわやかに感じられるこの頃
でござります。平素は何かとお世
話になりましたがどうござい
ます。

又この度は米寿のお祝いに記念
品をいただきましてありがとうございます。
平成元年もまたたく間に過ぎて
しまいました。暖冬とは申せやは
ました。

の史談、一絃琴の演奏、大いに感
銘し、望外の楽しさを味い、本日
の会には都合により不参加の皆様
に相すまぬ気分になりました。感
動の儘に御札を申し上げます。皆
様の御健勝を祈上ます。

田中 卓次

取急ぎお礼かた々御送付まで
ぞ皆様によろしくお伝え下さい。

藤澤 義夫

拝啓 今日は私の米寿の祝いとして銀
盆御送頂き誠に有難く厚く御礼
申し上げます。

この度は立派な祝の品をわざ
くお送り下さいまして御厚意有
ります。

先は不敢取御札までー。

平成元年四月

岡本格太郎

陽春の候、日増しに野山のみど
りがさわやかに感じられるこの頃
でござります。平素は何かとお世
話になりましたがどうござい
ます。

又この度は米寿のお祝いに記念
品をいただきましてありがとうございます。
平成元年もまたたく間に過ぎて
しまいました。暖冬とは申せやは
ました。

前略御免下さいませ。

陽春の候、日増しに野山のみど
りがさわやかに感じられるこの頃
でござります。平素は何かとお世
話になりましたがどうござい
ます。

又この度は米寿のお祝いに記念
品をいただきましてありがとうございます。
平成元年もまたたく間に過ぎて
しまいました。暖冬とは申せやは
ました。

前略御免下さいませ。

陽春の候、日増しに野山のみど
りがさわやかに感じられるこの頃
でござります。平素は何かとお世
話になりましたがどうござい
ます。

又この度は米寿のお祝いに記念
品をいただきましてありがとうございます。
平成元年もまたたく間に過ぎて
しまいました。暖冬とは申せやは
ました。

前略御免下さいませ。

陽春の候、日増しに野山のみど
りがさわやかに感じられるこの頃
でござります。平素は何かとお世
話になりましたがどうござい
ます。

又この度は米寿のお祝いに記念
品をいただきましてありがとうございます。
平成元年もまたたく間に過ぎて
しまいました。暖冬とは申せやは
ました。

前略御免下さいませ。

陽春の候、日増しに野山のみど
りがさわやかに感じられるこの頃
でござります。平素は何かとお世
話になりましたがどうござい
ます。

又この度は米寿のお祝いに記念
品をいただきましてありがとうございます。
平成元年もまたたく間に過ぎて
しまいました。暖冬とは申せやは
ました。

前略御免下さいませ。

陽春の候、日増しに野山のみど
りがさわやかに感じられるこの頃
でござります。平素は何かとお世
話になりましたがどうござい
ます。

又この度は米寿のお祝いに記念
品をいただきましてありがとうございます。
平成元年もまたたく間に過ぎて
しまいました。暖冬とは申せやは
ました。

前略御免下さいませ。

陽春の候、日増しに野山のみど
りがさわやかに感じられるこの頃
でござります。平素は何かとお世
話になりましたがどうござい
ます。

又この度は米寿のお祝いに記念
品をいただきましてありがとうございます。
平成元年もまたたく間に過ぎて
しまいました。暖冬とは申せやは
ました。

